

令和5年度
白河市中小企業・小規模企業振興会議について



白河市産業部商工課



白河市中小企業・小規模企業振興会議について

1.白河市中小企業・小規模企業基本条例の概要（p 2）

2.令和5年度白河市中小企業・小規模企業振興会議委員（p 3）

3～5.振興会議の活動経過について（p 4～6）

1. 白河市中小企業・小規模企業振興基本条例の概要

白河市中小企業・小規模企業振興基本条例

(令和2年4月1日施行)

・市内には約2,900の事業者があるが、そのほとんどは、中小企業・小規模企業となっており、地域経済を活性化するうえで中小企業者等の振興は欠かせない。

中小企業・小規模企業振興会議

・条例（第16条）に基づき組織する。
・委員は20名以内で構成し、市長が委嘱する。
・振興会議は年6回程度行う。

市

・関係部署と横断的な連携を図り、中小企業等の振興に関する施策を総合的に策定し、実施する。

中小企業者等の振興に向けた基本的な方針を定め、地域経済の活性化を図ることで持続可能な地域社会の形成につなげる。

委嘱

社会経済情勢、人手不足、
コロナ禍、景気停滞等

中小企業者等が振興を図るために、市に対して施策や事業等の提案を行う。

提案例) ・経営基盤の強化 ・事業活動の拡大
・人材の定着及び育成 ・創業及び事業承継等の促進

提案

提案の結果

振興会議から提案された事項について、関係機関や部署と連携し、政策の検討・立案を行う。



2.令和5年度白河市中小企業・小規模企業振興会議委員

	氏名	組織名	役職
会長	藤田 龍文	株式会社楽市白河	代表取締役
副会長	増子 国安	福島県中小企業家同友会 白河支部	専務理事
	武田 美奈子	株式会社武田産業	代表取締役
	吉島 祐輔	大島屋蒟蒻店	代表取締役
	山口 和真	有限会社山口こうじ店	専務
	井上 竜一	ジョルダン株式会社 白河支店	支店長
	阿部 涼	あべ果樹園	代表
	和知 健明	ダルライザープランニング	代表
	大竹 洸成	白河商工会議所	経営指導員
	佐川 盟子	産業サポート白河	相談員
	菊地 広幸	東邦銀行 白河支店	支店長
	福島 勲	日本政策金融公庫 郡山支店	支店長
	大越 正弘	福島大学 地域未来デザインセンター	特任教授



3. 振興会議の活動経過について(1)

委嘱状交付式及び第1回白河市中小企業・小規模企業振興会議

令和5年3月24日（金）市役所本庁舎全員協議会室

【概要】

委員への委嘱状交付、会長・副会長の選出及び中小企業振興に関する意見交換

第2回白河市中小企業・小規模企業振興会議

令和5年4月26日（水）産業プラザ人材育成センター研修室

【概要】

（中小企業振興に関する課題抽出）・・・中小企業の課題である人材確保や若手育成に関して、市内の子供たちは白河市にどんな企業があるかわからない。また、県南地域には大学がないことも問題である。若者に向けてSNSなどを活用した情報発信や、近隣の大学との連携することも必要である。

第3回白河市中小企業・小規模企業振興会議

令和5年6月20日（火）市役所本庁舎全員協議会室

【概要】

（中小企業振興に関する提言内容について）・・・中小企業の課題を解決する為、市に対し提言する事業の対象を誰にするかという議論がなされ、小中学生を対象とし、子供たちが大人になった時に白河に帰って来たいような事業を企画するという結論になった。



（委嘱状交付式の様子）



（振興会議の様子【全員協議会室】）



4. 振興会議の活動経過について(2)

第4回白河市中小企業・小規模事業振興会議

令和5年8月23日（水）産業プラザ人材育成センター研修室

【概要】

（白河管内の雇用情勢について）・・・前回の議事で中小企業の課題として人材確保が挙げられたことを受けて、実際に白河管内の雇用動向について分析を行った。分析の結果、特に建設業や製造業が人手不足であり、一方で事務職では求人が不足している。また、採用しても早期離職してしまうというミスマッチが発生している状況だった。

（中小企業振興に関する提言内容について）・・・小中学生を対象とした事業を企画するにあたって、まず子供たちが地元中小企業を知らないことに問題があり、認知してもらう必要があるという意見があった。また、稼ぐ力を幼い頃から教育すべきという意見もあり、稼ぐ力を養う事業の事例として、子ども起業塾やビジネスコンテストが挙げられた。

（先進地の視察について）・・・小中学生向けの事業を行っている先進地の選定を行った。選定の結果、仙台市にある「仙台こども体験プラザ」という子ども向けの働くことや社会経済の仕組みについて学ぶ体験施設を視察することとなった。

仙台市視察

令和5年10月12日（木）仙台子ども体験プラザ

【概要】

仙台こども体験プラザを視察。当施設は2016年8月にオープン。子供たちが働くことや社会・経済の仕組み等について学ぶ体験型の施設で、小学5・6年生を対象とした再現された店舗や事業所で働く体験ができる「スチューデントシティ」と、中学生が対象で商品やサービスの購入・契約を体験し、情報を適切に活用する力や生活設計などについて学ぶ「ファイナンスパーク」という2つのブースに分かれていた。



（仙台市視察の様子）



（仙台市視察の様子）



5. 振興会議の活動経過について(3)

第5回白河市中小企業・小規模企業振興会議

令和5年11月22日（水）産業プラザ人材育成センター講堂

【概要】

（中小企業振興に関する提言内容について）・・・前回の仙台視察を受けて、当市でも体験型の子供向け事業を企画することになった。現在市内小中学校行われている職場体験学習が話題になった。

第6回白河市中小企業・小規模企業振興会議

令和6年1月31日（木）産業プラザ人材育成センター研修室

【概要】

（「Out of KidZania inしらかわ2023」の実施報告）・・・11月に県主催で行われた子供たちが職業体験する事業「Out of KidZania inしらかわ2023」の実施状況について、市事務局から委員に対し報告を行った。県南地域にある24の事業所が出展した。また1,000名の定員に対し2,500名の応募があった。

（市内小中学校における職場体験学習の実施状況について）・・・市内小中学校で行われている職場体験学習等の状況について分析を行った。職場体験の受け入れ先として、地元中小企業が少ないことが分かった。

（中小企業振興に関する提言内容について）・・・市内小中学校の職場体験の現状を受けて、地域の人々と関わりを持つことで郷土愛を醸成し、子どもたちが白河市で将来働きたいと思える「白河版職場体験」を企画していくこととなった。



（振興会議の様子【人材育成センター】）



（振興会議の様子【人材育成センター】）

白河市産業部商工課

電話 0248-21-5910

メール shoko@city.shirakawa.fukushima.jp